

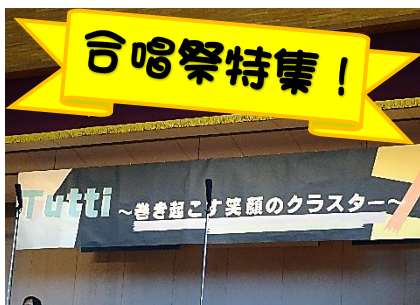
學生徒会新聞

発行：生徒会本部

担当：砂原瑞音

：紫田修平


2020.11.19



十一月五日。雲一つない青空に包まれながら、体育館では「合唱祭」が行われました。今回は「Tutti 巻き起こす笑顔のクラスター」という言葉がスローガンでした。「Tutti」は「全員で」という意味のある音楽用語。全校で実施することができた今回にふさわしいスローガンだったと思います。体育館に飾られた掲示物は、美術部の皆さんが制作してくれました。朝、放課後と第二集会室で作業する姿を何度も見かけました。素敵なスローガンの制作をありがとうございました。そして何よりも、当日を迎えるまでに歌声委員の皆さんが各学級はもちろん全校をリードしてくれました。様々な連絡から準備・片付け、そして各学級での練習の進行や掲示物の作成など色々な面で活躍してくださいました。歌声委員の皆さん、本当にありがとうございました。

さて、今回の生徒会新聞は「合唱祭特集」と題して、今号を担当する砂原、繁田がインタビューを行ってまいりました。まずは前歌声委員長の3年岡本真央さんからの言葉を掲載させていただきます。次に、各学年の主任の先生方にもインタビューをさせていただき、学年全体や各学級の印象を聞きましたので、それを皆さんにも紹介させていただきます。

前歌声委員長 岡本さんより



短い時間で全クラスとも良いハーモニーが出せていて良かったです。大変な時期ですが、全校で集まって歌うことが出来て良かったです。ここで気を抜かず、この期間で築き上げてきたクラスの絆を大切に、「これからも頑張っていきたいと思います」。

一年生の取り組みについて(岩井先生より)

学年全体 一・二・三年生から刺激をもらいつつ、パートリーダー中心によく頑張っていた。

一年A組 パートリーダーを中心に、パート練習が特に良く出来ていた。

一年B組 自分たちからピアノなどの道具などをそろえていて、積極性が良かった。

一年C組 パワフルで元気な歌声を本番で響かせていて良かった。

二年生の取り組みについて(加藤先生より)

学年全体 練習からの向上心や具体的な指摘、計画、運営、それに対する協力が去年と比べてステップアップしていた。

二年A組 練習開始から徐々に前向きな意識が広がり、途中一気に歌のレベルが向上した。リーダーに協力しようとする姿勢も素晴らしかった。

一年B組 良いスタートダッシュだった。紆余曲折あったが、最後はみんな高いモチベーションで歌い切れたように見えた。

一年C組 コツコツと自分のクラスの曲を温めていた印象。終始、パートリーダーが声をかけてみんなもそれに對してまとまろうと誠実な姿勢が見られた。

三年生の取り組みについて(澤口先生より)

学年全体 行事が少なくなった中で各クラス空いている時間での取り組みが良かった。

三年A組 ハーモニーがとてもキレイで体育館にとても良く響いていた。男子も良く協力していて、昼休みに一番練習していた。

三年B組 安定した合唱が出来ていたクラス。ポテンシャルが高かったが、練習が少なかった印象がある。合唱祭で感じたことをこれから活かしてほしい。

三年C組 女性部の響きが良かったが、男子も負けなような歌っていた。クラス内の話し合いの末、良い合唱が出来ていた。

最後は全校合唱「地球星歌」を歌いました。改めて、全校で合唱コンクールを行うことが出来て良かったです。今後も全校で集まる機会が少ないと思うので、今回、こうして集まれたことを大切にしましょう。また、これからもコロナウイルスに負けないように、合唱祭に向けて頑張ってきた気持ちを大切にしながら、毎日の学校生活に臨んでいきましょう。



最後は全校合唱「地球星歌」を歌いました。改めて、全校で合唱コンクールを行うことが出来て良かったです。今後も全校で集まる機会が少ないと思うので、今回、こうして集まれたことを大切にしましょう。また、これからもコロナウイルスに負けないように、合唱祭に向けて頑張ってきた気持ちを大切にしながら、毎日の学校生活に臨んでいきましょう。